



国政との連携

議員として課題に取り組むとき、例えば基礎自治体レベルの市議であっても、国の考えや法律について、出来る限り把握しなければなりません。行政は誰かの思い付きで動いているわけではないからです。逆にそれらがある程度把握できていれば、課題に立ちあがる壁が、法律なのか、行政単位の内規によるものなのか、はたまた、担当者の解釈によるものなのかが分かります。私は、市議になってから、課題の解決や調査を、



調査を、国の省庁の担当者、に、直接確認してきました。その際の強力なパイン役として、畑代議員のお力をお借りしていただきます。とりわけ

け田畑代議員には、予算の問題やコロナ対応に関する国への働きかけ等、今年度に入ってから度々お世話になっております。田畑代議員は、そろそろ副大臣のポストも視野に入ってきました。国は地方と違って議員内閣制ですから、正にこれからの活躍の期待大です。

米作は大丈夫か

我が家には2ha強の田んぼがあります。現在は、県内最大面積を耕作する農業法人に作って貰っています。以前の表現で言えば、その小作料は、5千円/一反を少し下回り、田んぼを所有する側にとっては厳しい金額です。しかし、その法人から更に金額を見直したいとの通知が届きました。分かりやすく表現すると、3百坪当たり、月4百円の家賃で田んぼを借りていてもやうていけないから、もっと安くしてくれという事です。国の方針に従い、農地の集約化が進んできました。結局集約化してもこの有様です。もはや米作は限界状態です。市や県、国を巻き込んでの議論が必要です。



集約化しても用水の管理等は集落総出



20番江西照康

富山市議会副議長
厚生委員会委員

議席番号
5番→12番→20番

発行
富山市打出409
江西照康後援会
☎076-435-1000
fax076-435-1111

いよいよ新任期間開始

三期目の議員活動、皆様のご期待にお応えできるよう、一生懸命頑張っております。

副議長に就任しました

この春の富山市議会議員選挙において、市議の顔ぶれが大きく変わりました。私の議席番号は12番から20番に変更です。8人分ベテラン側にスライドし座席も3列目です。党派構成は、自民24名、公明4名、立民3名、共産2名、

誠政2名、維新1名、フォーラム1名、気魄1名で、自民会派の占率が大幅に増えています。多数決において自民会派単独の判断で多くのことが決定できますが、責任が伴うことを自覚しなければなりません。4月30日に行われ

市井の意見を行政に活かす。鳥だ！飛行機だ！



富山市政のラストマン
江西照康です。

発行の目的

今まで、議会質問の前に質問の要旨をお伝えすることで、私の考えをご理解いただき、皆様の支援が市政を動かす原動力であることを実感頂ける『議会傍聴ダイジェスト』を発行してきましたが、副議長就任にあたり、そのメインテーマを失ったことから、試行錯誤しながら、当面は後援会便りを発行させて頂いていただきます。少し臨場感に乏しく、読みごたえがないかもしれないかもしれませんが、出来る限り充実した中身となるよう心がけてまいります。何卒よろしくお願い申し上げます。

本紙作成および配布に当たり、政務活動費は一切使用しておりません。尚、当選にかかる御礼などは公職選挙法により禁止されているため、記載しておりません。

た臨時議会において、副議長に選任されました。議会を代表する議長の補佐的な役割です。政務活動費の問題以降、散々な評価を受ける富山市議会でしたが、そろそろ県内市長村議会のリーダー的な役割をこなさなければなりません。その自覚をしっかりと持って挑みたいと思います。

任期中は質問なし

残念なことが一つあります。私は人一倍議会質問に力を入れて来ましたが、副議長は、議長が出張や病欠、その他の理由で不在の場合に議長の代わりを務めることが必要であるため、その任期中、本会議での質問はなしという慣習があり

ご意見・ご要望をお気軽にお聞かせ下さい。

メール



ホームページ



議会質問



江西照康



藤井新市長の富山市政 慎重にスタート

昨年度の3月議会において、森前市長が今年度の当初予算を策定しました。私は当面、新市長の色は出せないと考えていることを、3月の議会傍聴ダイジェストで述べさせていただきました。

3月の時点では、市長は誰になるのかは分かっておらず、藤井市長のことを想定して述べたわけではありません。

さて、新市長初となるこの度の、6月補正予算編成は、一般会計で約25億円です。昨年の6月補正予算額は、約23億円でしたから、やはり平素の補正予算に近いものといえます。

これからどのように色のある政策が提案されてくるのか楽しみです。

下表は、補正予算の中でも、藤井市長の判断によって肉付けされたことが、当局が議会側に説明したものです。

正直なところ、これは今までの踏襲に過ぎないでしょう。やはり、まだこれからです。

令和3年6月補正予算

(単位汗円)

	補正前	補正額	補正後
一般会計	172,894,563	2,448,290	175,342,853
特別会計	127,738,274	1,976,022	129,714,296
企業会計	46,608,693		46,608,693
合計	347,241,530	4,424,312	351,665,842

当初予算編成において新市長が判断すべきとされた事業、いわゆる「肉付け予算」 151,317千円

【主な事業】

- ・企業版ふるさと納税活用促進に係る業務委託料 2,500千円 新規
- ・共通仮想基盤及び文書管理システム機器等借上料 13,374千円 新規
- ・Street Pianoプロジェクトピアノ移設・設置業務委託料等 1,700千円 新規
- ・未来につなぐ都市のデザイン・アーカイブ業務委託料 5,000千円 新規
- ・自転車損害賠償責任保険加入促進補助金等 10,481千円 新規
- ・市民球場内野スタンド観客席更新業務委託料等 32,750千円
- ・婦中スポーツプラザ夜間照明設備更新工事 28,000千円
- ・八尾スポーツアリーナ照明更新業務委託料 26,000千円
- ・漁協組織基盤強化対策事業補助金 789千円 新規
- ・第4期中心市街地活性化基本計画策定業務委託料 8,000千円 新規
- ・泡消火薬剤廃棄・調達業務委託料 2,710千円 新規
- ・外国語指導助手配置業務委託料 17,556千円 拡充
- ・歴史資料展示会開催業務委託料等 1,000千円 新規
- ・科学博物館プラネタリウム更新事業費(債務負担行為) 新規

6月議会で思うこと

改選後初となる6月議会では、9名の新人の議員が質問に立ちました。内8人は、私の所属する自民会派です。

今回の議会質問において、自民会派らしい質問という点で、会派内で議論が巻き起こりました。この《自民会派らしい質問》、これは難しい課題だと思っています。

私は、思うことや、市民の皆さんからお聴きしたことを、自分なりに整理して、問題として取り上げてきました。要は必ず多少の否定が含まれるのです。

しかし、そうだったからこそ、前市長と多くの議論ができたし、市長の深い考えを理解することができたと思っています。

因みに、私自身は、そのスタイルを否定されたことはありません。

6月議会で議論の起きた、市議としてのスタンスと会派としての立場の共存について、会派中堅の議員として、調整の役割を担う必要があると思った次第です。

関係先への公式挨拶と 藤井新市長と富山市の施設を視察

高道議長とともに正副議長就任の挨拶に回りました。挨拶先は過去に倣う形で、県知事、県議会、県内他市議会、周辺町村議会、各市町村長、マスコミ各社、管内警察署、経済団体等です。

訪問先リストに農業団体はありません。私は過去に議長を務めていた先輩議員に、以前から農業団体への訪問がなかったのかを確認したところ、少なくともここ数年はないことが判明しました。これでは農家の意見が行政に反映するわけがないと感じ、JA富山中央会にアポを取り訪問した次第です。

また、藤井新市長の、富山市の施設巡視に高道議長とともに随行しました。富山市の主要施設を一巡するには、数日間の日程が必要となります。スケジュール調整の関係で全てに随行できたわけではありませんが、各施設の役割に加え、藤井新市長の誠実に気がつく姿が、とても勉強になりました。



↑ 浜黒崎浄水場 ↓ 旧米田家

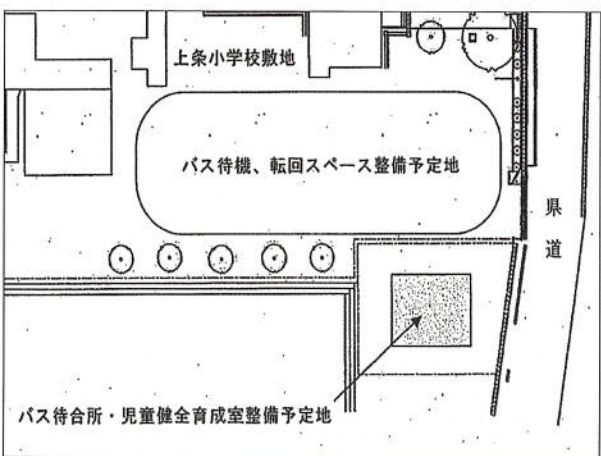


議案解説 令和3年6月議会

いよいよ学校統廃合開始！

いよいよ旧富山市における小中学校の具体的な統廃合施策が、議案に上がってきました。

水橋地区の5小学校及び2中学校の統廃合に向け、地元協議を活性化させるための関係費の計上と、来年度の三郷小学校と上条小学校の一次統合にむけて、上条小学校敷地内に、スクールバス待合所、児童健全育成室、バス車両の待機・回転スペースを整備するものです。



上条小学校のこの施設の整備費は7千万円を超える規模になります。

私は学校統廃合の背景となる児童数の減少は、その地が子育ての世帯に選ばれなかったのではなく、都市計画において、選べないようになっていることが原因だと考えています。

私は地域の生活の利便性向上のために、公共交通や商業施設の充実が大切だと考え活動してきましたが、ここへきて教育施設を失う自治振興会がいよいよ発生するので、行政主導で検討される地域が出てくる可能性があります。